

日本口蓋裂学会 心理社会的推進委員会主催

口唇口蓋裂における心理社会的支援セミナー

口唇口蓋裂の診療においては、患児や保護者の心理社会的な支援を必要とする場面を多く経験します。本セミナーでは、心理社会的支援の基礎知識と、いま提供可能な支援の方法を身に付けることを目標とします。また、今後どのような支援が求められているのかを、皆様と検討したいと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。

開催概要

日時：2024年1月28日（日） 10:00AM～3:00PM（予定）

会場：慶應義塾大学信濃町キャンパス 新教育研究棟2階講堂（東京）

（総武線信濃町駅から徒歩10分。現地でのリアル開催のみです）

参加費：3000円

*お支払いいただいた参加費につきましては、いかなる理由によっても払い戻しは致しかねます。ご了承ください。

プログラム（予定）

午前 「口唇口蓋裂における心理社会的支援の基礎」 10:00AM～12:00PM

1) 心理士の立場から：患児の長期的適応を見据えた乳幼児期の予防的支援

松本学 （東北大学 形成外科）

2) STの立場から：口唇口蓋裂を伴う事実に対する心理社会的支援の実践報告(仮)

斉藤裕恵 （言語 医療法人有愛会一枝クリニック）

3) 外科医の立場から：外科医ができる心理社会的支援と CLEFT-Q 導入マニュアル

彦坂 信 （国立成育医療研究センター形成外科）

4) ディスカッション：いま、臨床現場でどのような心理社会的支援が可能なのか？

講師からの情報提供をうけて、参加者の皆様と、いまの診療体制と制度のなかで可能な心理社会的支援と、これからどのような支援が必要とされるのかをディスカッションしたいと考えています。

午後 「症例検討」 1:00PM～3:00PM

司会：金子 剛（国立成育医療研究センター形成外科）

症例提示：指定演者

2例程度の症例提示をうけて、どのような心理社会的支援が可能かを、参加者と皆様でディスカッションしたいと考えています。

参加申込：Peatixからお申込みください：<https://peatix.com/event/3793955/view> QRコードはこちら↓

問い合わせ先：

セミナー事務局担当 彦坂信（国立成育医療研究センター形成外科）

prs@ncchd.go.jp

